

平成19年度実施事業 事業評価シート

<b>事業名:</b> 廃食用油BDF化事業				4-6
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1	2	
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1		

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126	
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一	担当者
				吉田 恵

1 事業のアウトライン				
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	家庭から出る廃食用油を回収しバイオディーゼル燃料(BDF)に精製して、市公用車燃料として使用する。			
(2)事業開始年度	平成19年度	(3)事業終了年度	未定	
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる		
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現		
	施策項目(小)	ごみ発生抑制と排出抑制のしくみづくり		
	施策コード	40301		

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	ごみの減量化と資源の有効利用を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	家庭から排出される廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)に精製する事により、ごみの削減と、環境負荷の削減を行なう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	廃食用油を市内に回収拠点(10箇所)を設けて回収し、BDF精製業者に引き渡す。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	石狩管内の他市も廃食用油のBDF化を行っている。また、道内を含め全国的にBDF事業は広がっている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)			0	0
(2)その他の間接経費(千円)			0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	0	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	0	2,691	
事務に従事した正職員延べ人数			0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入						出					
	計(B)	0	0	0	0						
	(A/B)						計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:リットル)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
廃食用油回収量(%)	目標値			未設定	未設定
	実績値			2,825	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:トン・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
家庭ごみ排出量(トン)	目標値			未設定	未設定
	実績値			10,071	
	達成率			-	
廃食用油回収量(トン) リットルを重量に換算	目標値			未設定	未設定
	実績値			2.46	
	達成率			-	
家庭系ごみ資源化率(%) (廃油回収量 / ゴミ処理量 + リサイクル資源総量)	目標値			未設定	未設定
	実績値			0.016	
	達成率			-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である	(1)~(4)の評価ポイント合計	
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。	
ア 受益者負担	1 不可能である	7~11	A or B
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	12~15	B or C
	3 可能である	16~21	D or E
<b>13</b>			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		環境面に良いことや、ごみの減量化にも繋がっている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		<p>今後は、廃食用油が発生する飲食店や、食用油を販売している一般小売店舗等が独自の取り組みとして、回収・実施するシステム及びルートの構築が必要であり、民間事業者等の協力を仰ぐ。</p>	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容	民間事業者を含めた取り組みの構築	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		事業実施初年度としては良好である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		回収拠点の増加を検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容	回収拠点の増加に向け各機関と協議を行う。	
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		